

うぐいす会年報

1980 (昭・55年)

No 1



HIROSHIMA COUNTRY CLUB

— 同好会発足25周年記念 —

1955年 (昭・30年)

広島 C. C. 医師同好会

〔目 次〕

1. 目 次	
2. 年報発行にあたり	串 田 秀 夫 1
3. うぐいす会誕生の頃	 2
4. S36年8月広島県医師会ゴルフクラブ（俗称うぐいす会）会員名簿	 3
5. たけのこ会・うぐいす会歴代幹事	 4
6. シニア賞（M43～T9）	 5
I）医師ゴルファーへの期待	真 田 博 5
II）回顧と期待	三 善 貞 輝 6
III）うぐいす会よもやま話	岡 本 繁 7
IV）敢闘賞をもらって	炭 田 秀 男 9
V）思 い 出	土 方 頼 己 10
VI）敢闘賞受賞	足 利 玄 郎 11
VII）ゴルフ談義	沢 近 宏 12
VIII）シニアあれこれ	田 中 三 千 穂 12
7. 最優秀選手賞	林 和 也 13
8. 特別寄稿—S44年度幹事の思い出	大竹一良・西田勝実 14
9. 技能賞—S45年度幹事の思い出	串 田 秀 夫 15
10. 年間敢闘賞を拝受して	長 崎 孝 16
11. 年間敢闘賞を受賞して	佐 伯 次 生 17
12. 特別賞をいただいて	島 本 学 17
13. 新入会御挨拶	松 本 文 雄 18
14. 再入会挨拶—うぐいす鳴いて	藤 井 成 之 19
15. 随想「八本松・西条への道」	谷 本 博 20
16. 56年度幹事御挨拶	大野文雄・谷本 博・豊島 啓 21
17. 55年度庶務報告	島 本 学 22
18. 55年度うぐいす会コンペ・データー	 23
19. お わ り に	55年度幹事 梶川和敏・吉川昭三・島本 学 32

年報発行にあたり

串 田 秀 夫

昭和55年度うぐいす会も幹事諸兄の努力で無事終了し、忘年会も盛大でした。後日うぐいす会仲間と一杯やりました席上で、うぐいす会が発足して何年目だろうか、20周年記念とか25周年記念とか、いや30周年記念ではないかと議論が別れました。考えてみますと現在うぐいす会員96名のうち、名簿上で私がすでに入会順位は15位となり、約80名の会員の大半は昭和42～43年以後の入会です。

うぐいす会の歴史は広島地区医師ゴルフの歴史ですが、未だに正式に活字になっておりませんので、こちらで一度記録を残しては如何なものかと感じまして幹事島本君に御願いした次第です。幸い昭和55年度幹事梶川・吉川・島本君が理解してくれまして、今回うぐいす会報創刊号が発行されることになりました。

私、皆様の原稿を読ませてもらいましたが、うぐいす会先輩諸先生の文章を若い世代の会員はじっくり読まれて、先輩の苦労を肌で感じてもらえれば幸いだと思いますと同時に、これでうぐいす会初期の状態がやっと記録に残り、以後日本がある限り永久に続くだろううぐいす会の歴史を次の代まで残すことが出来ました。又、次期幹事の方には御苦勞ですが、年報ですので毎年の記録を残されては如何かと御願ひします。最後に一昨年私が先輩諸先生、広島CC梶原支配人にお聞きしまして、医師協だよりに投稿した文章の一部を書いてみましたので御参考まで。

○

広島での初代ドクターゴルファーは天野進作先生（広島市中区西白島町）で、昭和2年頃すでに広島練兵場の部に同好の志として「ミニコース」を作ってゴルフを楽しまれておられたそうで、松坂義正先生（広島市中区幟町）も当時のメンバーと聞いております。東練兵場には私も子供の頃よく遊びに行きましたが、当時帝国陸軍の聖地である練兵場にゴルフコースを作ることが出来たとは、戦中派の私たちには凡そ理解しにくい驚きでして、当時のゴルファーが如何に社会的地位が高かったかが想像されます。同じ練兵場で片方は散兵戦を、他方ではゴルフを……何と変な組合せだと思うのは私だけではないと思います。昭和4年5月13日に広島で初めての本格的なゴルフコースが八本松にオープンしており、昭和6年度広島CCの記録には、天野進作・青木実・黒川巖・横山寧道・松坂義正諸先生の名前が記されており、昭和14年度には松林鎭三・田中政治・高原滋夫諸先生の名前が追加されております。当時、天野進作先生が理事キャプテンをなさっておられたという事は、当時の広島ゴルファーの代表者ということでして、聞きますところでは、天野先生が八本松にゴルフ場を作ろうではないかと提言され、それではと広島財界人と医師との共同出資で完成したそうです。戦前の広島ゴルフ界は医師主導型でしたが、戦後は反対の財界主導型となりましたのは致し方ないことですが、現在はゴルフ界での医師会の占める地位は薄いものです。

うぐいす会誕生の頃

旧八本松コース S 4 年 松坂

鈴ヶ峰にコース S 27 年 島

28 年 土方

29 年

西条コース OUT 30 年 水野

IN 31 年 今中、三善、長崎(正)、大内、正岡、奥川、小田、白石、真田(博)
植田(秀)

【たけのこ会】

32 年 (第 1 回たけのこ会コンペ: 松坂、水野、三善、土方、奥川、遠藤)
猪原、寺岡 他 (優勝 水野)

33 年 長崎(孝)、森、炭田、廐田(東)、宮脇、滝口、岡本(繁)

(公式戦優勝: 33. 5. 18 月例 B 三善)

太田川ゴルフ場
(練習場として発足)

34 年 (公式戦優勝: 34. 9. 24 月例 A 水野)

35 年 (公式戦優勝: 35. 1 土方)

【うぐいす会】

36 年 35. 11 真田(博)
..... (メンバー別表)

37 年

八本松コース IN 38 年

OUT ... 39 年 大竹 シングルプレーヤー No 1

40 年 小田 ホール・イン・ワン (八本松)

41 年 水野 シングル・プレーヤー No 2 (39. 38 八本松)

- ※ 参 考 文 献 {
- 1) 水野宗之: 広島市医師会だより 9. 72 (77号) P 13
座談会
 - 2) (三善、土方、天野)
(串田、平田): 広島市医師会だより 10. 76 (126号) P 7-12
 - 3) その他私信による。

130/会費 S 34. 1 月 23 日 10 日
65 (12 月) = (780 10)

広島県医師会ゴルフクラブ(俗称ウグイス会) 会員名簿

(19613)
昭和36年8月現在

姓 名	専門科名	住 所	電 話	ハンデ	摘 要
松 坂 義 正	皮 泌 科	広島市石見屋町52	(2) 3567	2 9	
島 薫	外 科	〃 細工町29	(2) 7145 7146	1 5	
正 岡 旭	産 婦 科	〃 猫屋町14	(3) 1166	3 0	
大 内 五 良	外 科	〃 大手町七丁目	(3) 0875	3 0	
水 野 宗 之	内 科	〃 研屋町41	(2) 3679	1 0	
原 田 東 岷	外 科	〃 広瀬元町144	(3) 0687	2 4	
沢 崎 嘉 衛	産 婦 科	〃 段原大畑町 8	(4) 7116 7015	3 6	
土 方 頼 己	外 科	佐伯郡五日市町吉見園	110の甲	1 9	
真 田 博	産 婦 科	広島市皆実町二丁目411	(4) 1362	1 4	
長 崎 孝	内 科	〃 三篠本町一丁目	(3) 0894	3 0	
炭 田 秀 夫	内 科	〃 〃 三丁目	(3) 0225	3 0	
小 田 英 夫	内 科	〃 〃 二丁目	(3) 3538	3 0	
滝 口 一 雄	耳 鼻 科	〃 袋町	(2) 2062	3 6	
三 善 貞 輝	小 児 科	〃 西蟹屋町210	(4) 6221	2 4	
白 石 正 敬	外 科	安佐郡可部町	2325	3 0	
藤 井 正 和	外 科	広島市橋本町16	(2) 1461	3 6	
植 田 秀 嶺	産 婦 科	〃 立町31	(2) 1515	3 6	
奥 川 一 三	産 婦 科	呉市元町	(2) 3064	1 7	
遠 藤 勇 三	内 科	三原市本町一丁目	3175	2 9	
寺 岡 正	内 科	芦品郡新市町	病 295 盲 152	1 8	
猪 原 修 三	産 婦 科	福山市米山屋	286 2895	2 9	
稲 葉 義 春	外 科	呉市広町	(7) 7063	2 8	
川 島 勝	外 科	呉市西本通七丁目18	(2) 2249	2 8	
岡 本 繁	外 科	広島市基町 1	(2) 9281	3 6	
大 木 正 数	外 科	安芸郡船越町	海田 236	3 6	
門 田 顕 治	産 外 科	呉市吉浦町東本町二丁目	(3) 7236	3 6	
森 文 雄	外 科	広島市楠木町三丁目	(3) 6810	3 0	
荒 木 忠	外 科	〃 横川町二丁目	(3) 2835	3 0	
上 田 重 彦	内 科	呉市広町長浜胡子	(7) 7903	3 0	
森 永 道 子	耳 鼻 科	〃 広町下新開	(7) 7604	3 6	
沢 近 宏	内 科	広島市宇品町14-445	(4) 4784	3 6	
中 山 広 実	内 科	〃 段原新町384	(6) 1692	3 6	
田 代 耕 一	日 独 薬 品 所 長	〃 天神町110	(3) 0484	1 0	

(呉市吉浦本町 門田顕治先生提供)

うぐいす会歴代幹事

たけのこ会

(うぐいす会の前身)

S31年 { 会長 : 松坂
庶務 : 島
幹事 : 水野 } (世話役) 土方、(田代)

32年 (1957年) 新田たけのこ会 コンパ

33年

34年

(世話役) 三善、真田(博)

35年

36年 (1961年)

8月

「うぐいす会」として再建 (世話役) 原田(東)

うぐいす会幹事

37年

38年

39年

40年

41年

42年

43年

門田、川島

岡本(繁)、滝口

大木、桧原

田中、江島

天野、三好

藤井、卜部

山崎、今井

S44年 大竹、西田

45年 串田、平林

46年 加藤、三戸

47年

48年 } 山崎、太槻

49年 }

50年 土方、三善

51年 中山、西元

52年 松本(高)、岡本(祐)

53年 谷本、沢崎(行)

54年 神原、林

55年 梶川、吉川、島本

※ 参 考 文 献

- 1) 座談会 (三善、土方、天野、串田、平田)
- 広島市医師会だより 10. 76 (126号) P 7 ~ 12
- 2) その他私信による。

医師ゴルファーへの期待

—— シニア賞・皆勤賞 ——

真 田 博

昭和55年も後僅かになりました。この時に当り、一年を回顧してみるのも、又新しい年への期待につながるかと存じます。

福沢諭吉先生の心訓の第一節に「世の中で一番楽しく立派な事は、一生涯を貫く仕事を持つ事です」という教訓があります。仕事にせよ、趣味にせよ、自分の好きなことに一生涯情熱を持ち続けることが出来れば、非常に幸せなことになると思います。その趣味がまた健康にもつながる道であればなおさらです。小生も、今年よりグランドシニア入りをしましたが、つくづく健康で仕事も出来、楽しいゴルフを皆様方と一緒にプレー出来ることを、日常非常に感謝しております。今日まで幾多の人々にゴルフをすることを勧めて参りました。その後ゴルフを始められた人から感謝され、こんなに面白くて健康が維持出来るのなら、もっとと早く始めたらよかったと異口同音に申されます。殊に、医療に携わる吾々は、「紺屋の白袴」の例えの如く、他人の健康には意を注ぐが、吾が身は心身の過労のため短命に終るということは避けねばならないことと思います。ゴルフをすれば自然と未知な人と知り合いとなり、新しい友情の道が開けてきます。楽しい夢はいつまでも見続けたいものです。

忘年会の席でも申し上げましたが、医師協主催による県内コースより年令別出場者を定めて、親睦ゴルフ大会を来年から毎年開催したらどうですか。優秀な成績の人は県代表選手に選ばれ、他府県医師会と試合されるということになれば、夢は益々広がるのではないのでしょうか。費用は可能な範囲で医師協に出資して戴き、他は吾々がプライベートコンペの時出資するように、出場者負担で行ったら如何ですか。

社会情勢は日毎に医師に風当たりが強くなる今日今頃です。殆んどの医師が悪徳医師のような見方をされる、吾々は神様ではない、人間のすることである。医師はお互に団結し、反省すべき点は反省し、言うべきことは言って患者との信頼関係の回復につとめなければならないと思います。

「健全なる精神は健全なる肉体に宿る」というように、ゴルフを通して健康を培い、医療情報の交換の場として、新しい知識を身につけるために、大いにゴルフを活用したいものと考えております。

新しい年を迎えるにあたり、皆々様の健康と精進を願っております。

昭和55年12月19日

回顧と期待

—— シニア賞 ——

三 善 貞 輝

終戦後中共留用8年を経て昭和28年帰国し、現在地にささやかながら開業しました。当時水野先生は非常にお元気で、既にゴルフの練習を開始しておられましたが、そのお姿を時々拝見しているうちに、満鉄病院在勤中偶然の機会からクラブを手にするようになり、昭和17年夏頃まで約4年間余楽しんだゴルフの醍醐味が甦り始め、終にゴルフ復活を決意することになりました。島先生、水野先生に紹介者になっていただいて、広島カントリークラブに入会することになりました。このため島先生のお宅をお伺いしましたが、「僕がゴルフを始めようとした時は先輩の天野先生から、お前はまだ若くゴルフをするのは早過ぎると、仲々お許しが出なくて閉口したものだが、しかし現在、僕は寧ろ若い医師達にも一生のスポーツとして薦めたい。君は初心者でないのだから頑張り給え」と激励していただきました。またその折、奥様が「主人は最近ちっとも賞品をいただいて来てくれませんのよ。齢ですわね」と微笑まれたことなど印象深く想い出されます。当時は私も開業早々で、入会金拾万円を一括支払は到底不可能でした。広銀に相談に行きましたが、広銀は入会金の振込は取扱っているが入会金の貸出しはしていない、広相で交渉されるようにと教えられ、その足で広相へ、広相では広島カントリークラブ理事長、東洋工業の登島常務の署名・捺印を貰って来るようにと用紙を渡され、早速東洋工業本社重役室に恐る恐る参上しました。重役室には広島カントリークラブのキャプテン村尾専務もたまたま同室しておられ、島・水野両先生の紹介だね、頑張り給えと即座に御印をいただくことが出来ました。このようにしてとに角入会手続きを完了しましたが、それから十ヶ月の月賦返済には相当つらい思いを味わいました。入会とともに突指を警戒して、医師会野球部捕手を辞退してスポーツをゴルフ一本に絞り、爾来通算ゴルフ歴30年余りということになりました。腕前の方は我流ながらまだ若さに物言わせてハンディー11までに到達しましたが、所詮は我流と年令加重の二重の障壁を乗り越えられずして、遂に二年前にハンディ15に格下げしていただく仕末と相成りました。よくしたもので15のハンディーになれば又それなりのゴルフしか出来なくなるもので、今後は何時まで15のハンディーが維持出来ることやら行末心細い限りではあります。老令ゴルファーの仲間入りした私も、人前ではハンディーの昇降や維持にこだわることはない、要は楽しくプレー出来れば充分など大口をたたいていますが、私にもまだ人並の欲望は残っています。唯、適当なハンディーで楽しむ方が本来の老令ゴルファーの姿であろうと一応のあきらめの域に達しかけたとは云えましょう。最近では日々の気候や体調を考慮して勝負に拘泥して興奮しないよう普段練習が出来かねる状況ですので、急激で極端なホームの改変などは避けるように留意しています。私の入会当時は県内には西条・鈴ヶ峯・福山河川敷の三コースしかありませんでしたが、昨今では連盟加入コースだけでも31ヶ所に達しており、医師ゴルファー数も「竹の子会」発足当初は30名にも満たなかったものが、既に千名を越えているのではないのでしょうか。又、集合の席などでゴルフに関する話題は慎むべきものとされていたものですが、最近では寧ろ挨拶替りのように話し

合われるまでに普偏化しています。ゴルフは個人プレーのスポーツで、何時でも何処でも練習の出来る取り組み易いスポーツであります。一度コースに出始めると直ちに稀に見る奥行の深い魅力にとりつかれるもので、今後益々大衆化の一途をたどることは間違いないと思います。

「明治は遠くなりけり」と如何にも明治生れの者は昔人間のように区別されますが、明治の終年生れが本年古稀を迎えることになる訳で、医師会には多くの古稀を越える方々がゴルフを楽しんでおられます。私共は一層健康に留意して少なくとも足腰の達者な限り、皆様とコースを歩き廻りたいと念願しております。今後ともあまり老人扱いをせず、御一緒にゴルフを楽しませていただくよう切に希望いたします。

うぐいす会よもやま話

—— シニア賞 ——

岡 本 繁

うぐいす会が何時頃からできたかは、はっきりしない。広島市では既に昭和の始めに、天野進作先生や松坂義正先生等が東練兵場にミニコースを作られ、楽しんでおられたと聞いています。

福井康雄プロと大槻房蔵先生との対談記録（本年12月広島医師会だより）によれば、昭和4年に現在の八本松のアウトコース辺りに本格的な立派なものがつくられたようです。これは戦時になって軍隊の演習場に使用され荒廃したようです。終戦になって私共が八本松コースに出初めの頃には、そのクラブハウスの跡形が残っていたのを覚えています。（八本松コース、昭和38年イン、昭和39年11月アウトオープン）。広島市周辺では終戦後初めて鈴ヶ峯に9ホールコース（広島ゴルフクラブ）が作られ、2～3年後に現在の西条コース（18ホール）が出来上った。（アウト昭和29年、イン昭和30年10月15日）、うぐいす会の前身、たけのこ会が結成されたのはこの頃であろう。チャーターメンバーがだれだだったか詳かでない。当時は国道二号線が狭険で舗装も不充分だったので（恐らく想像がつくと思うが）西条まで車で行き、キャディーカーでゴルフ場に通ったと聞いています。当時の先生方は、松坂義正先生、島薫先生、水野宗之先生、少しおくれて大内五良先生、真田博先生、三善真輝先生、小田英夫先生等と記憶しています。

この頃からゴルフを始める連中が急に増え、横川組、三篠組（長崎孝先生、森文雄先生、炭田秀男先生、原田東岷先生）、滝口一雄先生、土方頼己先生等と思います。私がたけのこ会へ入会したのもその頃だったと思います。当時はドクター連中だけではハンディオーバーになるので、西村先輩（元バスターミナル社長）、松山元県議会々長、伊藤電鉄会長、熊野元県警本部等に仲間に入って貰って、プレイしたことも聞いています。

私が入会して間もない頃でした。前述の伊藤会長、西村先輩、島先生と同じ電鉄の車で西条からの帰路のことでした。西村先輩が、「おい、島君よ、最近はだんだんお医者連中でゴルフをする者も増えたが、たけのこ会は医者には似つかぬ名前じゃの一。すすすく延びるのはいいが、どうせ末は薙じゃないか。いっそのことうぐいすにしたらどうやの一」との助言で、島先生が早速次回よりたけのこ会をうぐいす会に

改名と発言されたように記憶しています。果してそれが昭和何年かいまだに不詳ですが、昭和35・6年頃だろうと思います。

初めの頃は、在広ドクターで年に何回か集って開催されていたうぐいす会の初め頃、私と滝口先生が2～3年幹事役をしていました。独逸シェーリングの田代支店長には技術面その他で随分とお世話になり、その頃よりメンバーが急に増えました。現在うぐいす会のまとめ役であり中心的役割を果たしておられる串田秀夫先生をはじめ、海田（山崎）、瀬野、呉市（大竹・西田）のドクターも加わって盛大となる反面、今頃とは異なりメンバーでない連中も入って来たため、幹事泣かせのこともありました。

プレイ後、西条の小料理屋で会食した時、これも島発言により呉市の連中と袂を分かったのも、つい最近の様に思えますが、早や十数年も経っています。

ここで紙面をいただけるならば、私とゴルフについて少し述べたいと思います。

私が通信病院を辞して現在地八丁堀に外科病院を開設したのが丁度30年前の昭和26年4月でした。大学こそ違え、私が島先生に色々相談に行った時、先生は開口一番、非常に嬉しいことだ、開業医は少なくとも10年間は自分の城を片時も開けて留守をしてはいけない、ゴルフなどもっての外だと。当時西条コースの入会金が10万円で随分勧誘されたが、購入は頭から諦めていた。丁度開業より4～5年経った或る日今は亡き今西弁護士が家にお出でになり、君！ゴルフをやらないか。自分は鈴ヶ峯ゴルフクラブの会員で無記名が余っている。名義書換えをしてやるから一度行こうと誘われた。それ迄多少は家の空地で練習はしていたがゴルフ場に行くのは初めてで、夏の暑い日でした。今西先生の奥さん、私の家内と鈴ヶ峯に行き、先生はグリーン上で早く来いよと言わぬばかりにすずしい顔で待っておられました。何とゴルフは難しいものだと思い知らされたものでした。

ゴルフを正式に始めたのは開業後6年目頃で、幹事に原稿を頼まれてから、薄黒く錆びた優勝カップをあれこれ探しているうちに、最も印象に残っているカップが見つかりました。昭和37年5月第3回広島銀行盃で、最初の優勝をした時で（HD24）嬉しくて家内と共に喜びました。広島銀の重役連を呼んで祝賀パーティーをしたのも昨日のような気がします。

うぐいす会の始め頃はよく優勝し、最初が昭和38年度優勝（下に広島相互銀行とある）です。その頃はゴルフがおもしろくて、日本臨床外科医会その他の学会にはゴルフクラブを持って、北は北海道から南は鹿児島まで方々を島先生のお供をしたものです。先生には、医者として為すべきこと、その他社会学、人生勉強等随分と教わりました。或る日先生が、「若い人のゴルフはナイスショットの時でも感心はするが、感激はないね。あれを見給え、還暦過ぎた連中のゴルフには実に感激するからね」と言われました。色々思い出を書けば紙面は幾らあっても足らぬのでやめにします。何十年お供をしても先生のグリップフォームだけは習うまいと思っていましたが、先程の福井プロのお話では、よくよく考えた末の独特のものであったのをはじめて知って、今更ながら敬服の念を増した次第であります。

敢闘賞をもらって

—— シニア賞 ——

三 篠 町 炭 田 秀 男

1980
21

1959

S. 34

S. 34
07

5.55.
1980年も後旬日で過ぎ去ろうとしていますが、うぐいす会の忘年会で敢闘賞という思いがけない賞をもらって感激しています。受賞理由は年間優勝3回（うち1回はシニア賞）ということでした。1980年は私にとって記念すべき年となりました。

ゴルフを始めたのが、太田川ゴルフ場が練習場として発足した年ですから、丁度21年前のことですが、本年3月、太田川ゴルフ場の代表取締役役に就任したのも私にとっては記念すべきことですが、その当時のうぐいす会は、タケノコ会と言って、会名は僅か20名前後で、亡くなられた松坂先生、島先生など医師会の長老の方々が会をリードされていました。新入りの小田・長崎・炭田の三篠三人組が一番下手で、3人のハンディが90を越してはラウンド出来ないという当時の厳しいルールに適合出来るよう、寒稽古でもするよう、故松坂先生から叱咤激励されたのも懐しい思い出です。

大内先生が県医師会長に就任される2年前から、不明の胸痛発作に襲われるようになり、第7胸椎椎弓の結核？の診断でゴルフは禁止され、約10年間その為の痛みで苦しみました。大内会長の下で5ケ年間働かせていただき、理事の仕事も、激しい胸痛発作のため辞めさせて戴く破目になりましたが、ここ二・三年前から嘘のように胸痛発作は無くなり、毎日曜のゴルフが多忙な医業のなかで唯一の楽しみとなりました。10数年のプランクをうめるように、この2年間で公式戦で4回優勝し、特に昨年末から波にのり、'79年11月、八本松コース月例杯C組優勝グロス99（51、48）、今年に入って、2月西条コース、きさらぎ杯優勝88（42、44）ハンディ20、ネット66、4月西条コース月例杯優勝89（43、46）、ハンディ18、ネット71と隔月に優勝し、ハンディも念願の17になりました。勿論うぐいす会の優勝も手にした訳です。広島テレビの河村郷四社長のように60代でシングルにはとてもかないませんが、せめて、1980年の1ケ年間に、カーブのようにV3を達成しハンディを15にしてやろうと張切っていましたが、念願のV3だけは無理でした。

来年こそはと心ひそかに期している次第です。うぐいす会員の皆様の御健康と御発展を心から祈念して御挨拶とさせていただきます。

思 い 出

— シニア賞 —

土 方 頼 巳

20数年も前のことなので、正確なことは覚えておりませんが、故島先生と水野宗之先生のお二人と鈴ヶ峯のクラブハウスにて雑談中、島先生が、君は週3回肺の手術をやっておれば、後は若い先生に任しとけばよい結構な身分なので、暇があるので、医者でゴルフをやっている先生をさがして連絡をとって、西条でコンペを開くようにしてくれないかと頼まれたのがそもそもの始まりです。

そこで当時のゴルフ友達の日独薬品広島支店長田代耕一氏に手伝ってもらって、第一回目に参加された先生は、島(18)、水野(16)、三善(28)、福山市の猪原(28)、三原市人病院長遠藤(30)、呉の奥川(28)と私(22)の7名でした。かっこ内は当時のハンディーですが、記憶ちがいがあっても知れませんが、当時ゴルフ人口が少なかったもので、いつでもスタートは出来ましたが、「エチケット」はやかましき、特にハンディー制限は厳しく、合計ハンディ90以上にならないように組合せないとスタートさせてもらえませんでしたので、止むを得ず伊藤信之電鉄社会(16)とバスセンター西村徳一社会(16)この両氏は私の伯父のNEC社長土方鹿之助と広島一中時代の同期生です。故松山県会議長(16)、三菱造船田辺所長(18)、水野先生の広高時代の友人、を特別会員になってもらいました。第一回目のコンペのミーティングの席上で、会の名前があった方が良く種々の案が出されましたが、口の悪い伊藤電鉄社長が、どうせやぶの集りでゴルフも下手くそなので、竹やぶの一手手前の「たけのこ」みたいなものと言われ、島先生が賛同されて「たけの子会」と命名されました。半年後に真田博先生、次いで原田東岷先生と参加人員も少しづつ増え、腕の方も少しは上達して来ましたので、島先生がいつまでも「たけの子会」では世間体もあり良くないので、たけやぶには春になるとうぐいすが来て鳴くので「うぐいす会」にしてはどうかと発案され、現在の名称がスタートしたわけ。

では、第一回目に参加された先生方のプロフィールを簡単に紹介させていただきます。まず故島先生ですが、力士が上手を切りに行く時に腰を引きますが、全くあのポーズそっくりで、完全な横なぐりで最後までこのスタイルをかえられませんでした。ゴルフバッグには煙草が沢山入れてあり、まだ火がついておるのに次の煙草を出して火をつけられる程のヘビースモーカーで愉快的ゴルフアーでした。故松阪義正先生は非常に厳格な人で、ポケットにはコースの略図に打球の予定が書きこまれており、それをゴルフ場に行く車中で一生懸命見ておられました。実際の先生の打球がメモどおりに行かぬことが多く、難しい顔をされておられる事が多く、平素は耳が遠いからと言って安心して悪口を言うと不思議と聞えておって、あの大きい目でいられた苦い経験があり、先生とラウンドするのを敬遠した思い出があります。猪原、遠藤先生は、フォームも普通で、紳士で、もくもくとプレイされておられましたが、あまり良いスコアを出されたことはなかったように記憶しております。水野宗之先生は、広島一中、広高時代サッカーの名インナーでしたので、腰のすわった力強いスイングで低い弾道のボールでしたが、よく飛ばされとても熱心で良いスコア

一を出されておりました。医者でシングルになられたのは先生が最初の人です。ティーショットではいつも高さを一定にするため、紐のついたゴムを使っておられました。呉の奥川先生も熱心な方でフォームも美しく、木製のシャフトのクラブを使用されておられました。最後に三善先生ですが、あの太い腕でフルスイングをされるので、ボールは雲をかすみと飛んで行きますが、OBになることが多く、OBが出ると「日本のコースは狭いな。満洲のコースならセーフだ」とよくぐちをこぼしておられました。先生は終戦前まで満鉄病院に勤務されておられました。先生のは今のようなフェード気味でなく、全部フックボールでしたので、先生が一番多くOBを出されたのは、インの14番で先生の一番の苦手のコースでした。従って三善先生と私とが今では初代からのメンバーになるわけですが、今のうぐいす会の隆盛をみますと感慨無量です。

くだらぬことを書きましたがお許し下さい。諸先生方の今後の御精進と御健闘をお祈りいたします。

敢 闘 賞 受 賞

—— シニア賞 ——

足 利 玄 郎

忘年会でのお話しの真田先生の25年というキャリアには及ぶべくありませんが、私もやっぱりこれ以外の魅力あるものの出現に会えず、今もって悩ましいピン・ホール女史のとりこになっています。

ところで1661年エジンバラに住むトマス・キンケイドなる人物が初めてゴルフの指南書を書き、その基礎を作ったということですが、彼は26才の医師であって、それを日記風に且つ詩のように書いたことを知り、大変興味深く思い、ゴルフと医師との因縁の深さを感じているところあります。

動乱の'80年代の初年は吾々医師にとっても多難な年でしたが、ゴルフ特にうぐいす会の皆さんとの楽しいプレーが、これを切り抜けてゆくための大きな支えになっていることを思い、感謝している次第です。本日は12月うぐいす会4位、その他に三賞に入賞して気をよくしているところですが、そのうち敢闘賞は当日猛烈な冬將軍の襲来にも不拘、強行軍して、「魔法のじゅうたんにでも乗って来たのでは」と言う声もありました。事実は車の中で寝ころんでいましたが、一参加した意味も含まれているのかも知れません。それでな来年もまたうぐいす会にとって良い年でありますように!!

ゴルフ談義

—— シニア賞 ——

沢 近 宏

私がゴルフを始めて20年になる。もっとも途中で忙しさのためにブランクがあったので、実質はその半分にも満たないかも知れない。

先輩のすすめで広島カントリークラブの会員になって間もなく、原田東眠先生がメンバーになったらプレイをしなければ意味がないと言って、ゴルフショップにつれられて行った。1セット手にするや、早速西条コースを案内して呉れたが、スコアはひどいものであった。然し、ナイスショット、すじが良いぞと励まされて興味が拡がり始めた。早速入会したうぐいす会も会員数が少なく、忘年会も白純荘でことたりる位で、仲々和気藹々たるものであった。山では先輩のお供をしながら、ゴルフの技よりもむしろドクターゴルフの心がまえやマナー、時には人生観等について教えられることが多かった。今は亡き先輩は、「君、医者ゴルフはあまり下手でも人に迷惑をかけて困るが、上手になりすぎると、人があればゴルフばかりしていて医業をおろそかにしていると陰口を言われる。せいぜい、ハンディ15までだなあ。それ以上になると銀行も金を貸さなくなるよ。」と云われたことが耳の底に残っている。昨年より少し調子が出たのとお情けが加わってハンディ18になって以来、再び興味が復活して、せっせと山通いを続けているがサンデーゴルファーの身では仲々スコア・アップもままならない。ゴルフ上達が至難なことをいやというほど思い知らされた私は最近、先輩とは少し違った考えを持ち始めるようになった。それは余技のゴルフでシングルになれる人は、医師としても社会人としても立派に生き残れる人と言うべきだ。その人達に対して現在では銀行もきつと金に糸目をつけずに貸してくれるにちがいない。なぜなら、これだけの努力と精神の集中力と、練磨による体力、その上僅かの幸運までが兼ねそなわっている人達が成功しない訳がないからである。そう考えると私にも勇気が湧いてくるのを覚える。他人にそれは悪夢だ、逆夢だと言われても、せめて15に、いやいやまだその上になってみせると年甲斐もなく、心の高まりを覚えるのである。

シニアあれこれ

—— シニア賞 ——

田 中 三 千 穂

クラブチャンピオンの予選を一度も通過出来なかった私は、早くシニアになってシニアチャンピオンで一花咲かせようと考えていたが、当時（今でも余り変わりはないが）のショットは助かりようのないフックボールで、30度から40度も右を狙って真中に落ちるほどのひどいものであった。特にグリーンを狙うに

は困難この上なく、嘆きのセレナーデならぬ嘆きのボヤキに終始していた。このフックボールを矯正することなく試合に臨むこと事態間違いで、良い結果を求めるなど虫のいい話である。アウトを42で纏めたのは上々であったが、14番ショートホールでバンカーの往復ピンタを7を叩き、すっかり冷静さを失ってしまった。残り4ホールをボギーであがれば87で先づ予選は残れまいと判断、パーを取らなくてはという潜在意識が逆にスコアを乱す結果となり47でインをあがり、すっかり諦めていたのに、幸運にも予選を通過することが出来た。痺れるという言葉をよく耳にするが、16番ホールなど自分で自分を制御出来ないような状態になっていた。今思えばあれが痺れた状態であったのだろうか。

こうしてシニア一年は更に一段と憂鬱な幕開けで始まった。それというのもシングルプレイヤーとなった翌日から絶えずその負担に悩み続けているからである。この数年間、恥も外聞も忘れ健康のためのゴルフと自認し、ラウンド巻いているその気持の為せる業が、或いは運動神経、筋肉の衰退の為せる業が、時々HD、30のショットをしてみたり、そのクラスなら優勝というようなスコアを記録したりしている。シニアになったらとか、健康の為だからといって、安易なゴルフをやっていたのでは駄目だということを遅ればせながら気が付いた。シニアになって公式試合に二度も優勝した先輩も居られるし、古くはシニアになってシングルになられた方も居られることだし、気を引きしめて頑張らなくちゃあ!! 忘年会でのシニア新入生の言葉は、今にして思えば全く汗顔の限りで深く反省しています。

シニアゴルファーは何うあるべきか、今後諸先輩に学び且つ自分からも模索すると同時に、ゴルフに対する情熱を幾らかでも復活させるべく努力したいと思っていますので、皆様の御指導御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

年間最優秀選手賞

林 和 也

光栄にも昭和55年度のうぐいす会最優秀選手賞をいただきました。皆勤だけをめざして頑張ったのですが、前半が不調だったし思いもかけぬことで非常に嬉しく、幹事ならびに会員の諸先生に心から御礼を申し上げる次第です。しかしグロスが1位の串田先生に年間計24打もの大差をつけられておりまして、パシフィックのようにリーグ優勝してもシーズン通算勝率では第2位だったというような感じで、内心やや面映ゆい気がしないでもありません。

今年はいぐいす会のベストグロス獲得数を賭けて、中前先生と私が串田先生一人に挑戦し、負けた方が酒食を供応することにしてありました。ところが先生が巨人の中畑ばりの絶好調で全く手も足も出ず、7月にはすでに6敗して負け越しが決まり、活造りにご招待申し上げて大変口惜しく思いました。8月からの後期はクラブチャンピオン予選に照準を合わせて私達も奮起して2勝2負となり、12月例会が決勝戦でこれは上首尾に終り、後日、シャトウ・マルゴウ70年もので祝杯をあげ、ステーキ300gに舌鼓を打ったことでした。

この夏から木曜日の午後に、近くのコースをハーフ・ラウンドしております。おかげで一週間があまり長く感じられません。時にはプロと廻ることもあって、アプローチ・パットがだいぶ上達したと思います。ただし、これまでうまく寄れば運が良かったと喜んでいたのに、最近は寄らないのを当然と思わないで残念がるようになった程度の独善です。しかし、これは確実に受賞の一因だと考えております。ゴルフは私の唯一の趣味ですから、来年も身体に気をつけて皆勤させてもらうつもりです。そして今年よりも、毎月1打ずつスコアを縮めたいと思っています。どうか相変わらずよろしく御願い申し上げます。

1969年(昭和44年)幹事の思い出

—— 特別寄稿 ——

大 竹 一 良
西 田 勝 実

昭和43年12月5日グランドホテルに於ける忘年会の席で、山崎・今井両幹事より、次の幹事を引き継いだ。

幹事を受けたものの1月3日に八本松コースでコンペを行うのに、案内状の印刷からスタート表の発送まで2週間しかない。そのため、電話でその出欠を伺った。

呉から広島へ電話するには、0822……と10回ダイヤルを回さねばならない。先生方を呼び出すのに夫々時間はかかるし、それに同じことを約60回言わなければならない。しかも、折角準備したコンペも当日になって雪で中止となり、あらためて1月26日に第1回のコンペを行なった。当時はアウト・イン夫々7組位のスタートであった。又、現在は年会費で全てをまかなっているとのことであるが、当時はスポンサーへの依存が強く、大竹氏の家に菓の倉庫を建てたほどである。

毎月の例会の他に11月30日に西条コースで、県医師会のゴルフ大会を開催した。

個人的には大竹先生が瀬野川コースでの第1回広島県選手権大会に出場し、10位にくだり、私(西田)がH・C・Cのクラブチャンピオン・ファーストフライトで、決勝に進み安藤に負けたもののランナーズアップになったりで、幹事二人ともプレイの上でも元気であった。

またその頃より会員が急に増えはじめ、年末には80名位になったと思う。この会員増加はスタートの獲得にも影響し、それに会員間の疎通も少しずつ欠き始め、広島対呉の比率が約3対1となり、後年の広島・呉の分離に移って行くひとつの原因になったとも思う。

この年にはゴルフ以外のニュースとして、7月21日にアポロの月面着陸、月面歩行がある。

12月7日県医師会館前より貸切りバスを出し、八本松コースでコンペを行った後、音戸の戸田本店で忘年会を盛大に行い、昭和44年幹事の任を無事終ることが出来た。

昭和45年度幹事の思い出

—— 年間技能賞 ——

串 田 秀 夫

昭和44年度うぐいす会忘年会が音戸町の戸田本館でありました席上、来年度幹事を指名されまして、当日会費廃止、年間会費2万円で会を運営させていただきたいとの条件で、平林千代三先生と御引受けしました。会計を平林先生、競技を私と分担して行いましたが、当時はゴルフ・ブームの時代でして、スタート確保に大いに苦労した思い出が強く残っております。会の運営は私の持論で、幹事は独断と偏見で行うべきであるとの考えを優先しまして、会員の好・不評は一切聞かず昨年度までより出来るだけ変った方法でやろうと平林先生と相談して運営しました。なにせ10年前のことですので、二人で一杯やりながら記憶をたどり、私等の時期より変えた運営方法とか印象の深かったことを書いてみましょう。

- ① 製菓会社の協賛を廃止し会員の会費のみで運営することにしました。
- ② 出欠往復葉書を一年分会員個々の住所・氏名まで印刷しました。そのため、毎月宛名を書くことなく、日時のみゴム印を押し、横着ものの幹事としては助かりました。
- ③ 飲酒運転が社会問題となり始めた時期でして、京都でゴルフ帰りの医師4名の飲酒事故による死亡記事が出まして、幹事としましては大いに恐れ、ミーティングの席上のアルコール類を全面禁止としました。その代りにコーヒーとかアイスクリーム、サンドイッチ等で行いましたので、ミーティング費がほとんどいなくなり、それだけ賞品が多く買えました。
- ④ 正月大会は、優勝より5位まで、次いで最下位より10名表彰しております。一年の計は元旦にありと言いますので、正月より好スコアの人は気分が良いでしょうが、スコアの悪かった人に賞品でもあげて気分を直してもらおうとの考えでした。
- ⑤ 飛び賞は優勝者に上の数字BGに下の数字を引いてもらい、例えば82と出れば、NE T82以下10名に賞品を出しました。今までに成績集計に手間どることがありましてミーティング席上で皆様をイライラさせて待たすのも良くないので、早くて便利な方法はないものかと幹事が考えた結果でして、案外好評でした。
- ⑥ 参加賞は季節の洋菓子にしましたところこれには好・不評がありましたが、「うぐいす会のケーキを看護婦が待っている」との某先生のお話に元気づけられ、一年間続けまして、特に12月には立派なクリスマス・ケーキを出しております。
- ⑦ 9月の敬老月には、年令プラスH・Dで競技を行い、松坂先生が幹事の希望どおり大アンダーで見事優勝され、一生最後の優勝であろうと大いに喜ばれまして、後日平林先生と新月で御馳走になり、両名大いに恐縮したものでした。
- ⑧ 毎月の賞品は平林先生と何にしようかと相談し、選定するのに苦労しました。原則としまして、優勝も準優勝も飛び賞も同一品目にしまして、正月には婦人用草履、3月には女の子にぬいぐるみ、5月

には男の子のためにプラモデルとしましたが、西田勝実先生（呉市）が、戦艦大和をもらい完成までに1ヶ月もかかり苦労しましたとの笑い話が思い出されます。何月かは忘れましたが、箸にしたり、大作広島店の食事券にしたり、夏には婦人用扇子、11月にはクリスマス用に高級輸入ワイン（当時1本7千円と記憶していますが、現在は3万円級とか）、忘年会には宝くじをと決めましたが、まとめて買えず今でも夢のある賞品を出したかったのにと、悔んでおります。

以上が昭和45年度うぐいす会運営方法でしたが、以後現在まで各年度幹事の考えで運営方法は変わりますが、大きな変化はありません。ただ、10年後の現在も年間4万円ですので、私達の時期より貨幣価値に大きな差があり、私達の幹事時期は今から考えますと豪華賞品で皆様に喜んでもらっており、良い時期に幹事をさせていただいて幸いでした。

「年間敢闘賞」を拝受して

三 篠 町 長 崎 孝

1980年の終尾を愉しむ「うぐいす会恒例忘年会」の席上で、名誉ある「年間敢闘賞」を受賞する光栄に浴した。

もっとも厳正にして且つ権威ある審査の対象として本年6月の西条コース、引き続いて7月の八本松コースにおける連続優勝が評価されたものと思うが、この快挙は受賞云々より以上に私には終生忘れ得ぬ想い出となるであろう。それもその筈である。うぐいす会でも優勝はコースのコンペで入賞するよりももっと難しいといわれており、私自身も20年余のキャリアを誇り、ゴルフに関しては自流ながら一家言を持っているつもりであったが、不運というか巧者敵多しというか、久しぶりの出来事であったのである。今でも当日のことを思い出すと、喜びよりも驚きに胸がときめき、よくぞここまで……という感慨にひたることができるが、とにかく自他共に認めざるを得ない自慢話が一つ出来たことは嬉しいものである。

私のゴルフ歴は、昭和33年に入会金15万円で広島カントリークラブのメンバーとなってからである。当時、島薫・水野宗之先生を中心に、真田・大内・中山・三善・土方・小田・炭田などの諸先生、世話役の田代氏（日独薬品）らと「竹の子会」で、年4～5回のコンペがあり、時には伊藤広電社長・西村県警本部長・木村純子さんらをゲストに加えて、初期の腕を磨いてきたものだった。しかし、横川組はもっとも下手で、島先生から「寒稽古でもして上手になれ」と特命を受ける状態で、小田・炭田・森・宮脇・私の5名が順に車を運転しては太田川で早朝練習に励んだこともある。その甲斐あってか森先生はシングルプレーヤーになり、小田・宮脇両先生は間もなくハンディ14となる好成績であったが、医師会活動にいそしんでいた炭田秀男先生と小生は、全くの低迷状態を続けていた。

ところが、である。この二人が突然のごとく開眼し、昨年から調子をあげてきたと思いきや、本年はそろって「うぐいす会」で二度の優勝を成し遂げ、ハンディも16・17と上げてきたのだから、ゴルフとはワカラナイモノである。

帝王ニクラウスがいみじくも語っている。「低迷をのりこえて優勝した時の自信は、実力を二倍にも三倍にも高めることができる」と。快哉である。来年からの精進に励みが出る。

年間賞「敢闘賞」を受賞して

佐 伯 次 生

真に光栄なことです。有難うございました。うぐいす会に入会させていただいて4年になりますが、今年は優勝、2位、3位、6位、9位を各々1回ずつ取った上に、5月の54年優勝杯取り切り戦にも優勝し、シニアの先生方の御寄贈による立派な記念品まで頂戴しました。昨年までH・D・C・Pは当初の36から23まで上り、今年は山の月例杯競技にも二度優勝し、八本松の開場記念杯には2位（優勝者と同NET）となり、その都度H・P・C・Pが1つずつ改正されてやっと20になりました。お蔭様で我家には月例杯優勝カップが合計4つと銀スプーンの何本かもありました。蔭で「賞品泥棒」の悪口が聞かれそうです。

ところでゴルフはH・D・C・Pがあるために上達者も初心者も平等に楽しくプレイ出来る唯一のスポーツですから、無理にH・D・C・Pを良くする必要はないと昔は思っていたのですが、熱が入って来ると、ミーティングで参加賞のみもらって「拍手専従要員、では心中面白くなく、「又、参加賞だけか……」との息子の軽蔑から脱するためにも頑張った結果が少しは出たようです。でも、当うぐいす会は数ある医師ゴルフ同好会の中でも特別に上手な方ばかりが揃っておられ、H・D・C・Pが20台や30台では軍隊の位で言えば一兵卒にすぎず、(20台、30台の先生ご免下さい)常にスタート予定表の最末尾に甘じなくてはならず、それがまた大きな励みにもなります。

来年はもう一つ上って10台に乗せたいところですが、「年令や練習不足からみて、もう限界だよ、無理だよ」と、再びライバルから声が掛かりそうです。

特別賞をいただいて

—— C. C. 戦・セカンド・フライト優勝 ——

島 本 学

昨年10月 H・D 9にさせていただいてより、全く鳴かず飛ばずの一年間でした。うぐいす会でも7月に一度NET70で3位に入ったのみで、全くHDに負けたと言う状態でした。

今回のクラブ・チャンピオン戦も相変らずだめだろうが、2ラウンド競技に出場することに意義があると思い、とにかく飛ばそう等とは考えず、まっすぐ行けばいつか着くという感じで試合にのぞみました。

10月5日予選（和田5、江島7、島本9、森12）、41、40、43、43とまっずまっずの出来で、Total・

167、17位でセカンドフライトのトップで残りました。10月10日準々決勝。ここまで来る予定ではなかったので、子供の柔道の試合に立ち合う約束をしており、平身低頭してゴルフ場へ。西田先生（HD5）とハンディ4ついただいて18ホール。5-4で1nの茶店の前のハンディホールで決まりました。

10月12日準決勝。金川丁.氏（HD6）と36ホール、8-7の勝ち。当方も決して良くなく、43、45、41という調子でしたが、ハンディ3つが良く効いて相手が萎縮していたように思いました。50cm位のバットが外れて気の毒なような気がしました。2ラウンドめの12番で決まりました。10月19日決勝戦。この日はうぐいす会の日で、幹事ではあるし、まさか残るとも思っておりませんでした。とうとう来てしまったという感じで、梶川先生、吉川先生にうぐいす会をお願いして西条へ。今度の相手は山中氏、HD12。今まではハンディをもらってゆっくりしたゴルフをして来ましたが、今度は出す立場で、ホール毎に自分が萎縮しているのが自分で判りました。はじめ頃、小雨がふり相手は傘をさして悠然と「ホールマッチは楽しいですね」と語りかけて来るのですが、当方傘をさす気にもならず「そうですかね」と返事をしたような次第。始めのハーフで2ダウン、1nに入って1アップ。次のoutで相手がりきみ始めて3アップ。終りの1nに入って相手が良くなり、当方の1アップで16番まで来ました。17番当方パーをとり2-1の勝ち。これが決まってから「ホールマッチは楽しいものだ」と初めて感じたような次第です。

昨年クラブ・チャンピオン戦の1stへ13位で残り、今年は2ndの優勝と、この競技とは相性が良いようで、来年もぜひ頑張りたいと考えております。尚、うぐいす会で今までにセカンド・フライトに優勝された先生は、山崎孝男先生、水入先生、林先生で、私が4人目ということで、大変名誉なことであると思っております。

新 入 会 御 挨 拶

松 本 文 雄

私、十一年間開業していた呉市から五日市町に転居すると共に、六月から「うぐいす会」に入会させて戴き、光栄に思っております。関西はよく知りませんが、九州・四国の人達で西条に行つてゴルフをしたいという声をよく聞きます。（不思議と八本松へ行きたいという声は聞きません。）良いコースでプレイ出来て幸せだと思います。

ラウンド中の景色で、グリーンに近くなって後を振り返ってみた時が一番美しいという人が居ましたが、グリーンに近くなるとプレイに熱中して、余り後を振り返ってみる余裕がないため、そこからの風景が案外見慣れないためでしょうか。股ぐらから後をのぞいた風景が最高とか、顔を横にしてみた風景がよいと言う人もいます。ミスショットをしてカッカしている時等試してみたら如何でしょう。

ゴルフの後で飲むビールは格別ですが、ハーフを終つて昼休みのビールも誘惑の強いものです。私も以前は大ジョッキや大ピンを傾けていましたが、午後のラウンドで気前よくO・Bを連発するので最近では止めました。ビールを傾けると調子が出て来るという剛の人がうらやましい限りです。

ゴルフを始めて八年になりますが、何年経っても倦きる様子はなく、完全な中毒患者のようです。最初の頃のように楽しくて前夜眠れなかったりはしませんが、折角の休日が何かの所でゴルフに行けない時、何んとなく淋しいのは皆様同じでしょうか。人並に色々本を漁ったりしながら、我流であれこれやって来ましたが、最近は壁に突き当たったような気がします。何んとかコンスタントで余り崩れないゴルフを身につけたいものです。

幹事の先生の御命令により駄文を綴りましたが、宜敷くお願い申し上げます。

うぐいす 鳴いて

—— 再入会御挨拶 ——

藤 井 成 之

「たけのこ」が生えて25年、「うぐいす」が鳴いて20年……とか。年輪は音もたてずに刻まれていく。

私が「うぐいす会」に入れて頂いたのは、たしか昭和39年頃だったように思う。最初に同伴して下さったのは大内五良先生と真田博先生で、もう一人はどなただったか忘れてしまった。八本松のホールがやっと18ホールに造成され、四角い芝苗が累々と張りつながれていた。まさ土に縁取られた芝苗は碁盤の目模様を描き、遠目にはモザイクの曲線が流れていた。その11番ホールで、大内先生が惜しげもなくマックスのニューボールを立て続けに3つ4つと池に打ち込まれたのが鮮烈に眼底に焼きついている。当時はボール1箇1箇紙で二重に包装してあったので、まるでむしっては投げ、ちぎっては打ちの様相で、以来池越えのホールに立つと身内の震えが止らないのである。ゴルフを長くやっているとこんなアクシデントはまああるそうで、中村の寅さんだって全盛時代にバンカーで八打したという。

しかし、ゴルフほど親密度の増すスポーツは他にない。「よう戻った。よう帰って来た……。」と20年ぶりの広島私を、手取り足取り息子を教えるように懇切に導いて下さったお二方を忘れることは出来ない。そうして数知れないほど良い友達が1回毎に増えていったのである。それから数年後、今から数えて十数年前、うぐいす会の幹事を仰せつかったことがある。今と異ってメンバーばかりでなく、ビジターが多く、年に2回は東部地区で開催せよとの絶対命令もあった。当時の苦心談をいちいち書き記すほど野暮天ではないが、その一年間とはとにかく月に一度、ホーホケキョと天を仰いで泣きわめきたかった心境を覚えている。死者狂いのスタート確保など、今では嬉しい昔語りでしかない。

現在のような整然たる隆盛ぶりには、一入今昔の感が深い。旧き良き先輩や友人のことを思いながら、歴代の幹事、これからの幹事に厚い感謝を申し述べ、遙か松山の地から挨拶を送ります。海一つ渡り、これから参加しますのでよろしく……………。

八本松・西条への道

谷 本 博

広島から東広島へ向う国道2号線沿線は、いつも通う道ながらも何気なく見過ごし、記憶も朧げなこともあるが、四季折々の変化は実に趣きがあり、思いもいろいろである。

いつもの朝寝坊はそっちのけで、ゴルフの日ばかりは前日の就寝時間に関係なく早起きし、睡気眼をこすりながら愛車のエンジンを始動し、バイパスを60~70kmのスピードで飛ばす。

黄金山を右前方に見ながら、20年前は一面蓮畑で、生理学の実習用の蛙をとりに行ったことのある大学病院南門をすぎ、東洋工業を横目に黄金橋を渡るあたりでは、季節によっては朝日を真正面に受ける。

今日のゴルフは昨夜頭で描いたスコア通りに成るだろうかと、海田新橋の前後の急カーブではスピードダウンし、海田大正町交叉点で信号待ちをする。信号が青の時は一気に呉線のガードを潜り抜け、海田小学校、広島電気大附属高校、新幹線下に続いて安芸中野駅附近はエンジンの音は快調で、スーパーマーケット、キャタピラー、ペプシーもあまり目に入らず他車を追い抜く。ドライビングショットがフェアウエーの好位置をキープした時の気分だ。車の窓を少し開けている日などは、タカキベーカーリーから芳ばしい匂いが漂ってくることもある。

中野第二小学校へ渡る平原橋の信号からは一車線となり、少々スピードは落ちる。距離を求めフックやスライスを打つより、確実にフェアウエーからボギーオンの心境だ。いつだったかホテル山水の前でガス欠のため立往生しているメンバーを乗せ、定員オーバーでゴルフ場へ行ったこともあった。

二連の機関車の基地である瀬野駅を過ぎた右手川向うの瀬野小学校の桜の満開時は美しい。夏にはグラウンドで早朝から野球を楽しんでいる連中の姿もしばしば見受けられる。

一貫田のバス停を過ぎ、緩やかな登りの両側から次第に迫る山々の木々の葉が色づき、減反政策にもめげず耕作している稲穂が黄金色に稔る頃は心が晴れやかになる。SLが置かれているドライブイン花だんからは急カーブ、急傾斜となるが、スタート時間に余裕のない日などは、追越禁止区間で荷を満載した遠距離トラックが行手を塞いでいると気分が苛立つ。前組のプレーの遅延で待ちチョロをした時の腹立たしさと同じだ。また冬場の早朝の凍結スリップに悩まされるのもこのあたりである。或る時、ここでUターンして引返している人を見かけたこともある。

日本舗道・相原組の高い煙突から環境破壊の因となる黒煙が出ている。登り二車線を一気に登り切り、八本松駅前で、時にフツと今日のコンペはどちらだったかなあと迷うことがある。

学園都市としての構想も着々と進行している西条の街並も、西条駅から西へ延びるメインロードを中心として発展しつつあるが、更に変貌することであろう。

御 挨 拶

56年度幹事

大 野 文 夫

◇

谷 本 博

◇

豊 島 啓

五十六年度の「うぐいす会」の幹事として、御挨拶を申し上げます。

此の度、大野・谷本・豊島の三人で、幹事をさせていただくことになりました。前年度の幹事の梶川・吉川・島本の諸先生が非常に立派にやっておられるので、我々もそれに負けずに頑張るつもりでありますので、よろしく御後援下さい。

とかく、世代が違ったり、専門課目や出身校が違っても同じ医師会の会に居ても、コミュニケーションが出来ないものですが、このうぐいす会はそういったことを越えてよい雰囲気形成されております。今、我々にはこのようなことが一番必要なことではないでしょうか。これは、偏に、先輩の諸先生方の御指導のおかげと思っており、今後共、我々一同、この良い雰囲気を育成して行きたいと思っております。

55 年 度 庶 務 報 告

島 本 学

I. うぐいす会の構成

会 員 95名

{ 引き継ぎ時 93名
新 入 会 1名 (松本文雄 Dr.)
再 入 会 1名 (藤井成之 Dr.)

内 シニア 15名

{ 勤務医 1名
休 会 2名 (大山典男 Dr.、岡田 宏 Dr.)

II、年 間 表 彰 (敬称略)

1) 最優秀選手 : 林 和也

4回以上欠席は対象外とし出席点1回1点、入賞1位10点………10位1点として計算しました。

1. 林	61点	4. 炭 田	46点
2. 串 田	50点	5. 佐 伯	45点
3. 高 田	49点	6. 足 利	44点

2) 技 能 賞 : 串田秀夫

A) 平均グロス

2回以上欠席は対象外としました。

1. 串 田	81.16	4. 神 原	87.25
2. 林	83.16	5. 江 島、水 入	87.8
3. 中 前	84.5		

B) 平均ネット

4回以上欠席は対象外としました。

1. 串 田	76.16	4. 佐 伯	76.90
2. 林	76.16	5. 炭 田	77.0
3. 足 利	76.90		

3) 敢闘賞

- | | | | |
|-------|-------------|-------|----------|
| 1. 高田 | MVP 3位 | 4. 足利 | MVP 6位 |
| 2. 炭田 | MVP 4位 優勝3回 | | 平均ネット 3位 |
| 3. 佐伯 | MVP 5位 優勝1回 | 5. 長崎 | 優勝2回 |

4) シニア賞 (忘年会出席の12名)

取り切り杯の寄贈をしていただいたお礼と益々お元気でゴルフに精進していただくことを祈念して。

足利 (T6)	田中 (T9)
今中 (T4)	高田 (T7)
岡本(賢) (T2)	中川 (T5)
沢近 (T7)	中山 (T2)
真田(博) (M43)	土方 (T5)
炭田 (T4)	三善 (M44)

5) 皆勤賞 (12名) : (尚皆欠席6名)

今中	真田(光)
川本	沢崎(忠)
神原	沢崎(衛)
串田	谷本
久賀	林
真田(博)	松本(高)

6) 賞無し賞 (6回以上の出席で入賞もとび賞もなかった方)

高畑
平岡
細川

7) 特別賞

島本 クラブチャンピオン戦
セカンドフライト優勝

8) 昨年度幹事 巧労賞

神原、林

Ⅲ. 来年度幹事紹介

豊島 Dr 大野 Dr 谷本 Dr

55年度うぐいす会データー

	H D P	G N 順 1	2	3	4	5
1 天 野	1 0	98 88 49	85 75 ⑦	—————	—————	92 82 17
2 足 利	23→22	103 80 11	—————	101 78 ⑦	100 77 ⑤	—————
3 池 田	2 5	108 83 22	101 76 11	— N R —	—————	109 84 ②⑤
4 井 尻	1 3	97 84 26	86 73 ⑤	94 81 18	96 83 30	99 86 ③⑩
5 今 中	3 0	120 90 ⑤⑤	119 89 51	120 90 46	117 87 ③⑦	107 77 ③
6 板 橋	2 0	97 77 ④	—————	—————	94 74 ②	—————
7 碓 井	1 8	105 87 ④⑤	96 78 18	—————	95 77 ⑨	105 87 33
8 ト 部	1 6	101 85 34	—————	97 16 17	—————	—————
9 江 島	7	90 83 23	88 81 24	89 82 ②⑩	86 79 13	87 80 13
10 大 内	3 0	124 94 66	—————	—————	—————	—————
11 大 槻	7	91 84 29	90 83 37	87 80 11	91 84 33	—————
12 大 谷	20→17	110 90 ⑥⑩	95 75 ⑨	110 90 47	100 80 ②⑪	—————
13 大 西	1 3	—————	—————	—————	—————	—————
14 大 野	1 2	—————	93 81 26	94 82 21	95 83 31	—————
15 大 山	1 2	—————	—————	—————	—————	—————
16 岡 田	1 6	—————	—————	—————	—————	—————
17 岡本(繁)	1 1	—————	—————	—————	—————	—————
18 岡本(祐)	1 2	97 85 ④⑩	91 79 ②⑩	—————	—————	89 77 ⑦
19 落 久 保	1 6	100 84 29	103 87 49	106 90 48	—————	—————
20 梶 川	8	103 95 67	94 86 48	94 86 37	—————	98 90 39
21 梶 山	19→17	—————	—————	108 91 49	97 80 20	—————
22 加藤(正)	2 0	102 82 19	— N R —	116 96 54	109 89 ④⑪	118 98 42 ⑧⑨
23 加藤(昭)	2 1	—————	—————	—————	—————	—————
24 川 本	1 7	102 85 38	94 77 ⑬	97 80 ⑩	97 80 23	94 77 ④
25 神 原	9	86 77 ⑤	87 78 16	90 81 16	88 79 ③②	88 79 12

6	7	8	9	10	11	12
81 71 ②	84 74 16	85 75 22	80 70 ③	————	————	96 86 31
100 77 18	————	101 78 33	95 72 ②	98 75 ②	98 76 ⑪	99 77 ④
105 80 ③⑤	105 80 40	————	106 81 33	109 84 28	— N R —	91 83 22
85 72 ④	————	————	————	————	— N R —	————
110 80 34	112 82 51	117 87 ⑥①	112 82 ⑦	117 87 43	129 99 45	119 89 42
————	————	————	————	95 75 ③	————	————
95 77 ②⑤	100 82 53	————	98 80 32	104 86 42	————	111 93 52
————	————	————	88 72 ⑦	95 16 ⑧	————	————
83 76 ⑮	————	83 76 ②⑤	————	92 85 35	86 79 24	94 87 36
————	————	————	————	————	————	————
84 77 24	— N R —	81 74 19	————	————	84 77 ⑮	————
————	————	————	————	————	————	102 85 27
————	————	————	————	————	————	————
93 81 39	————	95 83 56	88 76 18	91 79 ⑨	————	————
(休 会)	————	————	————	————	————	————
(休 会)	————	————	————	————	————	————
————	92 81 44	94 11 51	94 83 ⑧	101 90 47	————	————
————	93 81 ⑤⑩	89 12 32	86 74 16	96 84 31	93 81 31	————
————	96 80 ④①	99 83 53	89 73 11	113 97 54	————	————
96 88 53	80 72 ⑦	81 73 16	— N R —	89 81 18	— N R —	91 83 17
————	————	88 71 ⑨	95 78 21	102 85 34	————	————
102 82 42	101 81 ④⑤	106 86 60	102 82 36	————	————	105 85 ②⑤
————	————	————	115 94 38	————	————	————
95 78 27	93 76 26	100 83 54	98 81 34	97 80 ⑩	94 77 13	95 78 ⑤
83 74 ⑩	83 74 ⑮	87 78 ③⑤	94 85 37	88 79 ⑦	84 75 10	84 75 ③

	HDP	G N 順 1	2	3	4	5
26 川 角	9	94 85 ③⑤	86 77 14	————	88 79 39	— N R —
27 串 田	5	85 80 12 ⑥⑦	85 80 21	77 72 ① ⑥⑦	82 77 ⑦ ⑥⑦	83 78 ⑨ ⑥⑦
28 久 賀	1 5	109 94 66	110 95 53 ⑥⑦	99 84 ②⑤	92 77 ⑧	95 80 ①⑤
29 佐 伯	23→20	108 85 39	96 73 ⑥	102 79 ⑨	————	94 71 ①
30 佐々木(貞)	1 2	103 91 62	————	————	————	— N R —
31 佐々木(秀)	1 1	89 78 ⑧	88 77 13	96 85 28	93 82 28	97 86 29
32 沢 近	1 8	120 102 64 ⑥⑦	————	————	————	————
33 真田(博)	1 3	103 90 54	101 88 ⑤⑥	101 88 41	102 89 40	96 83 22
34 真田(光)	14→13	97 83 ②⑤	83 69 ②	87 74 ②	98 85 35	— N R —
35 沢崎(忠)	8	96 88 49	91 83 ③⑤	93 85 33	92 84 34	90 82 19
36 沢崎(征)	1 4	98 84 ③⑥	98 84 43	94 80 12	93 79 16	91 77 ⑥
37 島	1 0	90 80 14	————	————	————	87 77 ⑤
38 島 本	9→8	95 86 43	89 80 22	93 84 26	88 79 18	97 88 ③⑥
39 島 崎	22→20	112 90 59	————	107 85 32	————	————
40 清 水	14→13	————	95 82 32	99 86 36	————	————
41 炭 田	20→17	102 82 18	86 66 ①	104 86 ③⑤	89 71 ①	95 78 ⑧
42 代 田	1 7	————	————	————	————	————
43 大 黒	1 2	101 89 52	————	97 85 ③⑥	91 79 12	102 90 38
44 伊 達	1 8	————	————	————	————	————
45 田 中	8	93 85 34	93 85 ④⑤	102 94 52	————	————
46 田 原	1 6	105 89 53	————	101 85 34	————	————
47 田 丸	20→18	97 77 ⑦	101 81 ②⑤	105 87 39	————	————
48 武 内	2 6	109 83 21	98 72 ③	110 84 24	108 82 29	————
49 谷 本	1 3	97 84 32	97 84 44	108 95 53 ⑥⑦	92 79 ①⑦	102 89 37
50 樽 谷	9	87 78 ⑨	95 86 47	92 83 23	89 80 19	88 79 11

6	7	8	9	10	11	12
82 73 ⑥	86 77 29	82 73 ⑮	89 80 ⑩	94 85 ③⑥	87 78 22	95 86 32
77 72 ③ ①②	79 74 17 ①②	77 72 13	78 73 ⑩	81 76 ④ ①②	77 72 5	93 88 ④⑩
100 85 51	102 87 62	85 70 ⑥	91 76 19	114 99 56	95 80 28	100 85 29
105 83 46	92 70 ②	99 78 36	97 76 17	101 80 11	90 69 ③	102 82 14
103 91 56	100 88 63 ①②	91 79 ④⑩	91 79 26	—————	97 85 36	101 89 44
88 77 19	83 72 ⑥	86 75 21	—————	99 88 46	85 74 ⑧	97 86 ③⑩
112 94 58	—————	—————	92 74 ③	109 91 49	112 94 44 ①②	106 88 37
91 78 26	89 76 ⑤⑩ → ②⑤	90 77 26	94 81 ⑤	98 85 32	91 78 17	98 85 24
91 78 ③⑩	93 80 42	83 70 ⑦	91 78 ②⑤	98 85 38	102 89 38	102 89 46
86 78 28	89 81 48	91 83 ⑤⑤	86 78 24	94 86 ④⑩	— N R —	98 90 49
95 81 ④⑩	86 72 ⑧	96 82 ⑤⑩	91 77 ②⑩	94 80 ⑮	94 80 29	94 80 ⑦
—————	85 75 23	81 71 ⑩	—————	—————	100 90 ④⑩	—————
87 78 31	79 70 ③	89 80 47	88 79 29	—————	85 76 ⑫	94 86 33
104 82 41	100 78 31	92 70 ④	—————	—————	—————	—————
87 74 11	91 78 32	90 77 29	—————	94 81 17	82 69 ①	96 84 ②⑩
101 84 48	96 79 34	92 75 ②⑩	89 72 ①	—————	—————	98 81 ⑧
—————	97 80 38	94 77 27	—————	107 90 48	101 84 ③⑤	113 96 56
103 91 57	100 88 64	102 90 64 ①②	91 79 27	—————	—————	—————
95 77 21	— N R —	—————	—————	100 82 21	—————	—————
—————	80 72 ⑤	93 85 59	89 81 ⑥	93 85 33	88 80 27	90 82 13
—————	96 81 49	95 80 ④⑤	— N R —	95 80 12	—————	100 15 28
101 83 44	96 78 33	100 82 48	—————	—————	109 91 41	110 92 51
100 74 ⑨	102 76 ②⑤	105 79 38	98 72 ⑥	—————	—————	107 87 ③⑤
96 83 47	88 75 24	93 80 46	85 72 ⑧	105 92 52	100 87 37	96 83 19
—————	82 73 ⑩	86 77 28	79 70 ②	92 83 23	84 75 ⑨	98 89 43

	H D P	G N 順 1	2	3	4	5
51 高 田	1 5	92 77 ③	88 73 ④	100 85 27	92 77 ⑥	————
52 豊 島	1 4	97 83 24	————	103 89 ④⑤	————	————
53 戸 田	1 5	————	————	————	————	————
54 土 肥	2 3	114 91 63	106 83 36	————	116 93 45	————
55 中 川	2 5	115 90 57	————	————	————	————
56 中 野	2 3	————	————	————	————	————
57 中 山	1 0	————	————	————	————	————
58 中 岡	1 3	96 83 ②⑩	————	————	————	98 85 27
59 中 前	6	97 91 64	87 81 27	87 81 19	86 80 25	84 78 ⑩
60 長 崎	17→16	103 86 42	93 76 ⑩	————	————	100 83 23
61 西 元	1 5	106 91 ⑥⑩	————	100 85 29	————	97 82 16
62 林	7	92 85 39	88 81 28	83 77 ⑤	86 79 15	89 82 21
63 土 方	18→26	105 79 ⑩	————	102 76. ④	102 76 ③	————
64 平 岡	1 6	————	————	98 82 22	96 80 24	————
65 平 田	1 2	93 81 ⑮	96 84 ④⑩	————	————	————
66 平 林	1 2	102 90 58	104 92 52	101 89 44	92 80 22	96 84 24
67 福 永	20→19	91 71 ②	————	————	————	94 75 ②
68 福 原	19→18	————	103 84 38	————	————	————
69 古 川	2 2	103 81 16	101 79 19	99 77 ⑥	————	108 86 31
70 細 川	1 6	103 81 44	97 81 22	————	————	————
71 松本(高)	1 0	97 87 47	91 81 29	90 80 13	99 89 42	97 87 34
72 水 入	6	91 85 37	————	98 92 ⑤⑩	84 78 ⑩	93 87 32
73 前 川	2 1	————	————	————	————	————
74 三 善	1 5	97 82 17	97 82 ③⑩	96 81 ⑮	94 79 11	————
75 三 好	1 8	————	————	————	————	————

6	7	8	9	10	11	12
89 74 ⑧	89 74 14	85 70 ③	90 75 ④	96 81 16	93 78 18	97 82 12
89 75 13	93 79 37	98 84 57	————	98 84 29	93 79 25	103 89 ④⑤
————	————	————	————	————	————	————
105 82 43	97 74 18	98 75 24	————	106 83 ②⑤	————	117 94 54
115 90 54	————	————	————	————	108 83 34	120 95 ⑤⑥ ③④
————	106 83 54	————	————	————	————	113 90 48
101 91 55 ③④	91 81 43	95 85 58	96 86 ⑨	103 93 53	————	————
90 77 20	93 80 39	————	————	97 84 26	————	————
83 77 23	80 74 19	77 71 11	————	86 80 14	79 73 ⑦	84 78 ⑥
88 71 ①	86 69 ①	95 79 39	94 78 23	————	94 78 ②③	106 90 47
99 84 49	97 82 52	98 83 52	————	106 91 ⑤⑥	107 92 42	102 87 34
80 73 ⑦	83 76 28	76 69 ② ③④	76 69 ① ③④	85 78 ⑤	79 72 ⑥	81 74 ②
97 79 32	————	107 89 63	————	106 88 ④⑤	108 90 39	————
————	89 73 12	90 74 18	94 78 22	96 80 13	————	————
————	98 86 61	82 70 ⑤	————	————	————	103 91 ⑤⑥
88 76 14	91 79 ③④	92 80 44	————	99 87 44	— N R —	————
————	91 72 ⑨	————	————	104 85 39	————	————
————	— N R —	97 78 34	————	117 99 55 ③④	————	————
116 94 59	98 76 27	100 78 37	————	————	114 92 43	————
————	95 79 36	————	90 74 13	100 84 27	————	104 16 38
82 72 ⑤	83 73 13	82 72 14	84 74 ④⑤	88 78 ⑥	89 79 ②⑥	91 81 ⑩
87 81 37	87 81 47	83 77 ③④	85 79 28	87 81 19	————	89 83 ④⑤
————	————	————	————	————	————	————
92 77 17	————	87 72 13	————	98 83 22	98 83 33	104 89 41
————	————	————	————	————	————	————

	H D P	G N 順 1	2	3	4	5
76 光 藤	1 6	100 84 29	98 82 33	103 87 ④⑩	-- N R --	98 82 ②⑩
77 山下(芳)	9	————	93 84 39	88 79 ⑧	90 85 ②⑤	————
78 山下(隆)	2 8	105 77 ⑥	103 75 ⑧	113 85 31	————	110 82 18
79 山崎(真)	2 2	————	————	97 75 ③	————	102 80 14
80 山崎(孝)	4	100 96 68	82 78 17 (BC)	92 88 42	94 90 43	94 90 ④⑩
81 山本(忠)	2 2	————	————	————	————	————
82 山本(正)	2 2	————	————	114 92 51	————	————
83 山 脇	3 0	————	112 82 31	————	————	118 88 35
84 柚 木	2 8	————	————	————	————	————
85 吉 川	1 7	97 80 13	100 83 34	104 87 38	93 76 ④	————
86 和 気	1 8	111 93 ⑥⑤	102 84 41	————	109 91 44 (BB)	102 84 26
87 鈴 木	1 5	103 88 ⑤⑩	————	————	————	————
88 浜 脇	10→9	94 84 33	————	————	————	————
89 高 畑	1 5	104 89 54	99 84 42	————	94 79 14	————
90 山 代	3 0	117 87 44	————	————	111 81 27	127 97 41
91 宇治木	29→26	116 87 48	105 76 12	114 88 43	113 87 38	111 85 28
92 藤 本	27→22	95 68 ①	108 85 46	103 80 14	108 85 36	————
93 佐々木(敏)	3 0	147 117 70	125 95 54	142 112 55	————	129 99 43
94 松本(文)	1 0					(入 会)→
95 藤 井	1 3					
優 勝 B G		藤 本 串 田	炭 田 山 崎(孝)	串 田 串 田	炭 田 串 田	佐 伯 串 田 (取切り戦 佐 伯)

6	7	8	9	10	11	12
————	99 83 56	95 79 41	89 73 12	102 86 41	————	————
90 81 38	— N R —	83 74 17	79 70 ④	90 81 ②③	————	————
————	111 83 ⑤⑤	119 91 65	129 101 ③③ (B)	111 83 24	————	116 88 39
————	97 75 21	————	————	114 92 51	————	105 83 18
87 83 ④⑤	88 84 57	————	————	————	————	————
————	————	————	————	————	————	————
————	————	104 82 49	————	————	————	————
————	115 85 58	118 30 62	————	————	108 78 19	————
————	————	————	————	————	————	————
94 77 22	— N R —	94 77 31	97 80 31	102 85 37	99 82 32	100 83 16
105 87 52	103 85 59	97 79 42	————	————	95 77 14	————
95 80 36	90 75 22	————	86 71 ⑤	————	86 71 ④	89 74 ①
89 79 33	84 74 ②③	80 70 ⑧	90 81 ③⑤	93 84 ③⑥	86 77 16	————
91 76 16	88 73 11	94 70 43	89 74 14	————	93 78 23	99 84 23
105 75 12	111 81 46	105 75 23	————	————	99 69 ②	114 84 21
————	————	————	————	————	————	107 81 11
107 84 ⑤⑥	100 77 ③⑥	————	————	————	————	115 93 53
————	————	————	135 105 40	————	————	————
88 78 29	81 71 ④	79 69 ①	82 72 ⑨	82 72 ①	91 81 ③⑥	91 81 ⑨
————	————	————	————	(再入会) →	91 78 21	98 85 26
長 崎 串 田	長 崎 串 田	松本(文) 林	{ A. 炭 田 B. 林 林	松本(文) 串 田	清 水 串 田	鈴 木 林

お わ り に

54年末、幹事を引き継ぐにあたり、此の大所帯のうぐいす会を上手に運営出来るかと先づそれが不安で
ありました。しかし、代々の幹事、世話役の方々の御苦勞のおかげで立派なレールが敷かれて居り、クラ
ブの方からも好意的な協力が得られた事、更に会員諸先生の御指導と御協力のおかげをもちまして何とか
勤め終えた事を此の上なく喜んで居ります。

忘年会も終って私達の仕事は完了したものだと思って居りましたが、歴史と伝統を誇るわがうぐいす会に
残念な事にこれ迄記録を残す会誌がなく、従って数々の素晴らしい成績も思い出の中に漸次忘れられて行
って居る様であり、これが非常に淋しいと云う声が強く出ました。

少々文献をくったり、私信をたづねてみますと本年は、広島県医師会ゴルフ・クラブが発足してより25
周年に当る様です。此の会の俗称が始め「たけのこ会」でS31年より、次いで「うぐいす会」となりS36
年より続いております。会員の方々の名前よりみて始めは県医師会員の同好の士の集まりであり、会員数
が増えてコンペのスタートが取りにくくなり、広島CCのメンバーのみの会となった様であります。次に
呉地区と袂を分かったと云う経過を取って現在に至っている様であります。とにかく会が起こってより
25年目の記念すべき年であります。(うぐいす会となって20周年)

事務局幹事としましても今年一年の膨大なデータを整理し、年間表彰の為に纏めてみますと、此れ
がいつれ霧散すると思うと大変に残念な気持ちがして居りました。

発足25周年を機会に記録を残そうと急遽発行にとりかかった様な次第です。従って不備・不満な点が多
々あると思いますが、とにかく始めの引き金を引くことが私達の勤めであり、何とかそれを果したと考
えて居ります。但し次からの幹事さんには1つ仕事が増えることになり大変にすまなく思っています。

投稿をいただきました方々をはじめ、色々御指導・御協力を下さいました皆様に心からお礼を申し上げ
ます。

55年度幹事 梶 川 和 敏

吉 川 昭 三

島 本 学

提供